



## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2021年11月2日

上場取引所 東名札福

上場会社名 日本製鉄株式会社

コード番号 5401 URL <https://www.nipponsteel.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 橋本 英二

問合せ先責任者 (役職名) 広報センター所長

(氏名) 有田 進之介

TEL 03-6867-2135、2146、2977、3419

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日 2021年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益 <sup>(※)</sup>		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	3,163,943	41.1	477,831	—	428,398	—	415,900	—	312,708	—	298,727	—
2021年3月期第2四半期	2,241,992	△26.4	△106,523	—	△148,810	—	△159,678	—	△188,244	—	△191,164	—

	四半期包括利益合計額		基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	404,093	—	324.43	—
2021年3月期第2四半期	△207,106	—	△207.62	—

<sup>(※)</sup> 事業利益とは、持続的な事業活動の成果を表し、当社グループの業績を継続的に比較・評価することに資する連結経営業績の代表的指標であり、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費、並びにその他費用を控除し、持分法による投資利益及びその他収益を加えたものであります。その他収益及びその他費用は、受取配当金、為替差損益、固定資産除却損等から構成されております。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円		百万円		百万円		%	
2022年3月期第2四半期	8,011,213		3,522,283		3,134,613		39.1	
2021年3月期	7,573,946		3,131,387		2,759,996		36.4	

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭				
2021年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2022年3月期	—	70.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期の期末配当については、2022年3月期第3四半期決算発表時に、年度業績見通し等を踏まえて判断し、公表する予定です。

### 3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		事業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,700,000	38.7	800,000	627.0	520,000	—	565.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細については、本日開示しております『2021年度第2四半期決算について』をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2022年3月期2Q	950,321,402株	2021年3月期	950,321,402株
2022年3月期2Q	29,563,827株	2021年3月期	29,564,533株
2022年3月期2Q	920,761,965株	2021年3月期2Q	920,727,590株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来予測情報の適切な利用に関する説明）

本資料に記載されている将来に関する記述には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## 添付資料の目次

要約四半期連結財務諸表及び主な注記	2
（1）要約四半期連結財政状態計算書	2
（2）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	3
（3）要約四半期連結持分変動計算書	5
（4）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
（継続企業の前題に関する注記）	7
（セグメント情報）	7

要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	359,465	331,964
営業債権及びその他の債権	805,306	829,130
棚卸資産	1,349,355	1,558,698
その他の金融資産	27,772	30,915
その他の流動資産	130,786	183,400
流動資産合計	2,672,686	2,934,109
非流動資産		
有形固定資産	2,954,938	3,003,030
使用権資産	88,559	80,761
のれん	46,341	46,902
無形資産	95,826	118,786
持分法で会計処理されている投資	817,328	930,079
その他の金融資産	628,226	598,006
退職給付に係る資産	110,396	117,970
繰延税金資産	153,123	175,481
その他の非流動資産	6,519	6,083
非流動資産合計	4,901,260	5,077,103
資産合計	7,573,946	8,011,213
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,382,761	1,375,800
社債、借入金及びリース負債	308,985	388,744
その他の金融負債	1,250	1,283
未払法人所得税等	24,256	118,415
その他の流動負債	54,077	41,433
流動負債合計	1,771,331	1,925,677
非流動負債		
社債、借入金及びリース負債	2,250,246	2,065,134
その他の金融負債	4,784	3,668
退職給付に係る負債	189,453	184,192
繰延税金負債	37,385	44,020
その他の非流動債務	189,358	266,236
非流動負債合計	2,671,228	2,563,252
負債合計	4,442,559	4,488,930
資本		
資本金	419,524	419,524
資本剰余金	393,168	392,879
利益剰余金	1,910,333	2,224,072
自己株式	△58,342	△58,358
その他の資本の構成要素	95,311	156,493
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,759,996	3,134,613
非支配持分	371,390	387,670
資本合計	3,131,387	3,522,283
負債及び資本合計	7,573,946	8,011,213

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上収益	2,241,992	3,163,943
売上原価	△2,086,638	△2,573,417
売上総利益	155,353	590,525
販売費及び一般管理費	△239,542	△263,114
持分法による投資利益	11,137	116,602
その他収益	23,161	56,311
その他費用	△56,633	△22,495
事業利益 (△は損失)	△106,523	477,831
事業再編損	△42,287	△49,433
営業利益 (△は損失)	△148,810	428,398
金融収益	1,613	954
金融費用	△12,482	△13,453
税引前四半期利益 (△は損失)	△159,678	415,900
法人所得税費用	△28,565	△103,191
四半期利益 (△は損失)	△188,244	312,708
四半期利益 (△は損失) の帰属		
親会社の所有者	△191,164	298,727
非支配持分	2,920	13,980
四半期利益 (△は損失)	△188,244	312,708
1株当たり親会社の普通株主に帰属する 四半期利益 (△は損失) (円)		
基本的1株当たり四半期利益 (△は損失) (円)	△207.62	324.43

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期利益(△は損失)	△188,244	312,708
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産の公正価値の純変動	21,801	9,492
確定給付負債(資産)の純額の再測定	14,500	11,120
持分法適用会社におけるその他の包括利益 に対する持分	4,799	4,191
純損益に振り替えられることのない項目 合計	41,101	24,804
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の 純変動	△1,693	△615
在外営業活動体の換算差額	△15,985	29,802
持分法適用会社におけるその他の包括利益 に対する持分	△42,284	37,393
純損益に振り替えられる可能性のある項目 合計	△59,963	66,580
その他の包括利益(税引後)合計	△18,861	91,384
四半期包括利益合計	△207,106	404,093
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△211,301	384,140
非支配持分	4,195	19,952
四半期包括利益合計	△207,106	404,093

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の公正価値の純変動	確定給付負債(資産)の純額の再測定
期首残高	419,524	394,404	1,870,948	△58,505	111,924	—
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期利益(△は損失)			△191,164			
その他の包括利益					18,485	18,422
四半期包括利益合計	—	—	△191,164	—	18,485	18,422
所有者との取引額等						
配当						
自己株式の取得				△28		
自己株式の処分		△1		2		
支配継続子会社に対する持分変動		1,934				
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			28,222		△9,799	△18,422
連結範囲の変更に伴う変動等		△2,763		218		
所有者との取引額等合計	—	△829	28,222	192	△9,799	△18,422
期末残高	419,524	393,574	1,708,005	△58,313	120,610	—

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計			
期首残高	△4,821	△91,857	15,245	2,641,618	355,013	2,996,631
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期利益(△は損失)			—	△191,164	2,920	△188,244
その他の包括利益	△5,119	△51,925	△20,136	△20,136	1,275	△18,861
四半期包括利益合計	△5,119	△51,925	△20,136	△211,301	4,195	△207,106
所有者との取引額等						
配当			—	—	△4,572	△4,572
自己株式の取得			—	△28		△28
自己株式の処分			—	0		0
支配継続子会社に対する持分変動			—	1,934	△132	1,801
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			△28,222	—		—
連結範囲の変更に伴う変動等			—	△2,544	△1,987	△4,532
所有者との取引額等合計	—	—	△28,222	△637	△6,692	△7,330
期末残高	△9,941	△143,782	△33,113	2,429,679	352,515	2,782,195

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の公正価値の純変動	確定給付負債(資産)の純額の再測定
期首残高	419,524	393,168	1,910,333	△58,342	207,300	—
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期利益(△は損失)			298,727			
その他の包括利益					10,451	10,391
四半期包括利益合計	—	—	298,727	—	10,451	10,391
所有者との取引額等						
配当			△9,219			
自己株式の取得				△34		
自己株式の処分		0		17		
支配継続子会社に対する持分変動		△288				
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替連結範囲の変更に伴う変動等			24,230		△13,838	△10,391
所有者との取引額等合計	—	△288	15,010	△15	△13,838	△10,391
期末残高	419,524	392,879	2,224,072	△58,358	203,913	—

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計			
期首残高	3,397	△115,385	95,311	2,759,996	371,390	3,131,387
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期利益(△は損失)			—	298,727	13,980	312,708
その他の包括利益	18,137	46,432	85,412	85,412	5,972	91,384
四半期包括利益合計	18,137	46,432	85,412	384,140	19,952	404,093
所有者との取引額等						
配当			—	△9,219	△3,964	△13,183
自己株式の取得			—	△34		△34
自己株式の処分			—	17		17
支配継続子会社に対する持分変動			—	△288	281	△6
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替連結範囲の変更に伴う変動等			△24,230	—		—
所有者との取引額等合計	—	—	△24,230	△9,523	△3,672	△13,196
期末残高	21,534	△68,953	156,493	3,134,613	387,670	3,522,283

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項なし。

(セグメント情報)

[報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失に関する情報]

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計	調整額	要約四半期 連結財務諸 表計上額
	製鉄	エンジニア リング	ケミカル& マテリアル	システム ソリューション			
売上収益	1,965,815	151,511	78,968	121,740	2,318,036	△76,043	2,241,992
セグメント利益(△は損失) ＜事業利益＞	△116,757	7,211	△3,637	10,636	△102,546	△3,976	△106,523

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計	調整額	要約四半期 連結財務諸 表計上額
	製鉄	エンジニア リング	ケミカル& マテリアル	システム ソリューション			
売上収益	2,851,416	123,879	122,515	131,246	3,229,058	△65,115	3,163,943
セグメント利益(△は損失) ＜事業利益＞	448,281	△2,940	13,571	14,613	473,525	4,305	477,831

# 2021年度第2四半期決算について

## <損益実績(連結)>

(単位:億円)

	2021 上期	2020 上期	'20上期→ '21上期	2021上見 (8/3公表)
売上収益	31,639	22,419	+ 9,220	31,000
事業利益※1	4,778	▲ 1,065	+ 5,843	3,500
[ROS]	[15.1%]	[-4.8%]	[+19.9%]	[11.3%]
個別開示項目※2	▲ 494	▲ 422	- 72	▲ 450
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,987	▲ 1,911	+ 4,898	2,000
<1株当たり当期利益>	<324.4>	<-207.6>	<+532.0>	<217.0>
[ROE]※3	[20.3%]	[-15.1%]	[+35.3%]	
EBITDA※4	6,392	367	+ 6,025	5,100
有利子負債	24,538	27,692	- 3,154	
D/Eレシオ※5	0.59	0.85	- 0.26	

(※1) 事業利益とは、持続的な事業活動の成果を表し、当社グループの業績を継続的に比較・評価することに資する連結経営業績の代表的指標であり、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費、並びにその他費用を控除し、持分法による投資利益及びその他収益を加えたものであります。その他収益及びその他費用は、受取配当金、為替差損益、固定資産除却損等から構成されております。

(※2) 当社グループの営業活動と関連が低く金額の影響が大きい非定期的項目

(※3) 年率換算 (※4) 事業利益+減価償却費 (※5) 劣後ローン・劣後債資本性調整後

## (※2) 個別開示項目内訳

(単位:億円)

	2021 上期	2020 上期	'20上期→ '21上期
個別開示項目 合計	▲ 494	▲ 422	- 72
事業再編損	▲ 494	▲ 422	- 72

### <2021上期>

・設備休止関連損失▲813(呉鉄源休止関連▲503、和歌山鉄源1系列▲237等)

・旧東京製造所土地売却益 他

### <2020上期>

小倉鉄源設備休止関連損失▲398等

## (※6) 連結事業利益差異の内訳

(単位:億円)

2020上期  
→2021上期 対前回

連結事業利益 差異	+5,840	+1,280
1. 製鉄事業	+5,650	+1,080
① 生産出荷	+1,070	-180
② マージン	+1,360	+610
③ コスト改善	+550	~
④ 国内グループ会社	+380	+180
⑤ 海外グループ会社	+780	+130
⑥ 在庫評価差(Gr会社込み)	+1,780	+330
⑦ その他	-270	+10
2. 鉄以外セグメント	+110	+70
3. 調整額	+80	+130

## <諸元>

(1) 当社

	2021 1/四	2021 2/四	2021 上期	2020 上期	'20上期→ '21上期	2021上見 (8/3公表)
連結粗鋼生産量(万t)	1,188	1,137	2,325	1,678	+ 647	2,350程度
単独粗鋼生産量(万t)	1,018	1,005	2,023	1,464	+ 559	2,050程度
鋼材出荷量(万t)	920	909	1,828	1,446	+ 383	1,880程度
鋼材価格(千円/t)	97.2	116.1	106.6	83.6	+ 23.0	106程度
為替(円/\$)	110	110	110	107	3円安	110程度

(2) 全国

	2,435	2,407	4,842	3,709	+ 1,134	4,900程度
粗鋼生産量(万t)						
鋼材消費(万t)*1	1,358	1,367	2,724	2,513	+ 211	2,730程度
(うち製造業)	(841)	(843)	(1,684)	(1,527)	(+ 158)	(1,750程度)
<製造業比率>	<62.0%>	<61.7%>	<61.8%>	<60.7%>	<+ 1.1%>	<64%程度>
普通鋼鋼材消費(万t)	1,084	1,075	2,159	2,000	+ 159	2,140程度
建設	499	506	1,005	953	+ 52	950程度
製造業	585	569	1,153	1,047	+ 106	1,190程度
特殊鋼鋼材消費(万t)	273	292	566	513	+ 53	590程度
国内メーカー在庫(万t)	539	*2 583	*2 583	512	+ 71	
薄板三品在庫(万t)	388	*2 432	*2 432	367	+ 65	

\*1 当社推定値 \*2 9月末(速報)

## <セグメント情報>

(単位:億円)

売上収益	15,031	16,607	31,639	22,419	+ 9,220	31,000
製鉄	13,515	14,998	28,514	19,658	+ 8,856	28,100
エンジニアリング	591	647	1,238	1,515	- 277	1,200
ケミカル&マテリアル	578	646	1,225	789	+ 436	1,250
システムソリューション	664	648	1,312	1,217	+ 95	1,270
調整額	▲ 317	▲ 333	▲ 651	▲ 760	+ 109	▲ 820

事業利益	2,170	2,608	4,778	▲ 1,065	+ 5,843	3,500
製鉄	2,025	2,456	4,482	▲ 1,167	+ 5,649	3,400
エンジニアリング	▲ 5	▲ 24	▲ 29	72	- 101	0
ケミカル&マテリアル	62	73	135	▲ 36	+ 171	75
システムソリューション	77	68	146	106	+ 40	110
調整額	9	33	43	▲ 39	+ 82	▲ 85

## 【剰余金の配当(第2四半期末)について】

当第2四半期末の剰余金の配当については、前回見通し公表時点からの中間期業績及び年度業績見通しの増益を踏まえて、第1四半期決算発表時(2021年8月3日)の公表内容から15円増額し、1株につき70円(中間配当としては過去最高水準)とさせていただきます。

なお、当期末の配当については、第3四半期決算発表時に、年度業績見通し等を踏まえて判断し、公表する予定です。

## 2021年度年度見通しについて

### <損益見通し(連結)>

	2021年度見			2020年度	'21上期→ '21下見	'20年度→ '21年度見	2021年度見 (8月3日公表)
	上期	下見					
売上収益	67,000	31,639	35,361	48,292	+ 3,722	+ 18,708	65,000
事業利益 ※1 [ROS]	8,000 [11.9%]	4,778 [15.1%]	3,222 [9.1%]	1,100 [2.3%]	※4 -1,556 [-6.0%]	※4 +6,900 [+9.7%]	6,000 [9.2%]
個別開示項目 ※2	▲ 800	▲ 494	▲ 306	▲ 986	+ 188	+ 186	▲ 900
親会社の所有者に 帰属する当期利益 <1株当たり当期利益>	5,200 <565.0>	2,987 <324.4>	2,213 <240.6>	▲ 324 <-35.2>	- 774 <-83.8>	+ 5,524 <+600.2>	3,700 <402.0>
<b>E B I T D A ※3</b>	<b>11,300</b>	<b>6,392</b>	<b>4,908</b>	<b>4,009</b>	<b>- 1,484</b>	<b>+ 7,291</b>	<b>9,300</b>

(※1) 事業利益とは、持続的な事業活動の成果を表し、当社グループの業績を継続的に比較・評価することに資する連結経営業績の代表的指標であり、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費、並びにその他費用を控除し、持分法による投資利益及びその他収益を加えたものであります。その他収益及びその他費用は、受取配当金、為替差損益、固定資産除却損等から構成されております。

(※2) 当社グループの営業活動と関連が低く金額の影響が大きい非定期的項目

(※3) 事業利益 + 減価償却費

### <諸元>

#### (1) 当社

連結粗鋼生産量(万t)	4,570程度	2,325	2,250程度	3,765	- 75程度	+ 805程度	4,600程度
単独粗鋼生産量(万t)	3,970程度	2,023	1,950程度	3,300	- 73程度	+ 670程度	4,000程度
鋼材出荷量(万t)	3,620程度	1,828	1,790程度	3,122	- 38程度	+ 498程度	3,650程度
鋼材価格(千円/t)	117程度	106.6	127程度	86.1	+ 21程度	+ 31程度	
為替(円/\$)	110程度	110	110程度	106	0円安程度	4円安程度	110程度

#### (2) 全国

粗鋼生産量(万t)		4,842		8,278			
鋼材消費(万t) *1 (うち 製造業)	5,680程度 (3,590程度)	2,724 (1,684)	2,950程度 (1,900程度)	5,298 (3,311)	+ 226程度 (+ 216程度)	+ 382程度 (+ 279程度)	5,650程度 (3,640程度)
<製造業比率>	<63%程度>	<61.8%>	<64%程度>	<62.5%>	<+ 2%程度>	<+ 1%程度>	<64%程度>
普通鋼鋼材消費(万t)	4,460程度	2,159	2,300程度	4,205	+ 141程度	+ 255程度	4,430程度
建設	2,020程度	1,005	1,010程度	1,921	+ 5程度	+ 99程度	1,950程度
製造業	2,440程度	1,153	1,290程度	2,283	+ 137程度	+ 157程度	2,480程度
特殊鋼鋼材消費(万t)	1,220程度	566	650程度	1,093	+ 84程度	+ 127程度	1,220程度

\*1 当社推定値

### <セグメント情報>

売上収益	2021年度見			2020年度	'21上期→ '21下見		2021年度見 (8月3日公表)
	2021上期	2021下見	2021年度見				
製鉄	67,000	31,639	35,361	48,292	+ 3,722	+ 18,708	65,000
エンジニアリング	2,800	1,238	1,562	3,244	+ 324	- 444	2,800
ケミカル & マテリアル	2,450	1,225	1,225	1,786	-	+ 664	2,500
システムソリューション	2,700	1,312	1,388	2,524	+ 76	+ 176	2,650
調整額	▲ 1,750	▲ 651	▲ 1,099	▲ 1,547	- 448	- 203	▲ 1,750
事業利益	8,000	4,778	3,222	1,100	- 1,556	+ 6,900	6,000
製鉄	7,600	4,482	3,118	635	- 1,364	+ 6,965	5,700
エンジニアリング	0	▲ 29	29	177	+ 58	- 177	40
ケミカル & マテリアル	210	135	75	76	- 60	+ 134	140
システムソリューション	270	146	124	239	- 22	+ 31	250
調整額	▲ 80	43	▲ 123	▲ 27	- 166	- 53	▲ 130

### (※4) 連結事業利益差異の内訳

(単位:億円)

	2021上期 →2021下見	2020年度 →2021年度見	対前回
連結事業利益 差異	-1,560	+6,900	+2,000
1. 製鉄事業	-1,360	+6,960	+1,900
① 生産出荷	-150	+1,050	-150
② マージン	~	+1,900	+900
③ コスト改善	+50	+600	~
④ 国内グループ会社	-50	+250	+150
⑤ 海外グループ会社	-250	+1,150	+300
⑥ 在庫評価差(Gr会社込み)	-600	+2,400	+650
⑦ その他	-360	-390	+50
2. 鉄以外セグメント	-30	-10	+50
3. 調整額	-170	-50	+50

### (※2) 個別開示項目内訳

(単位:億円)

個別開示項目 合計	2021 年度見	2020 年度	'20年度→ '21年度見
事業再編損	▲ 800	▲ 986	+ 186

#### <2021年度>

・設備休止関連損失▲1,400程度  
(上期:呉鉄源休止関連、和歌山鉄源1系列等、下期:名古屋厚板、君津大形・UO等)  
・旧東京製造所土地売却益 他

#### <2020年度>

・設備休止関連損失▲799  
(小倉鉄源設備休止関連損失▲398、日鉄ステンレス(衣浦一貫休止関連等)▲251等)  
・事業撤退損▲187  
(VSB持分譲渡関連▲236、北米I/N Tek・Kote持分売却等)

(注) 上記予想には本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## 足元の経営環境と当社の対応

### 1. 足元の経営環境及び損益の見通し

- 国内外鉄鋼需要については、コロナ禍からの回復の動きが継続。中国の鉄鋼減産政策による影響もあり、引き続き鋼材需給はタイトな状況。
- 昨年度断行した抜本的コスト改善(損益分岐点の大幅な引下げ)に加え、紐付き価格是正の取り組み強化、一貫能力絞り込みによる注文選択の効果、海外Gr会社の収益力の向上等により、外部環境にかかわらず一定以上の利益を確保しうる収益構造(2025 中長期経営計画目標 ROS10%程度)の構築に向け着実に推進中。
- 以上により、統合後最高益の 2014 年度(※)に対し、大幅に外部環境が悪化(国内鋼材需要減、原料高騰等)している状況下においても、2021 年度事業利益は前回見通しを上回る統合後過去最高益を実現する見通し(8,000 億円、ROS12%程度)。 (※)統合後の過去最高連結経常利益(2014 年度):4,713 億円(日本製鉄 4,517+旧日鉄日新製鋼 196)

#### 【2021 年度損益見通し】

**連結事業利益 年間:8,000 億円(上期:4,778 億円、下期:3,222 億円) ~対前回 年間+2,000 億円好転**

		cf.2014 年度
<国内鋼材消費量>	年間 5,680 万 t(対前回+30 万 t)、 <u>上期 2,724 万 t、下期 2,950 万 t</u>	6,403 万 t
<当社単独粗鋼量>	年間 3,970 万 t(対前回-30 万 t(*1))、 <u>上期 2,023 万 t、下期 1,950 万 t</u>	4,823 万 t(*2)
<当社鋼材出荷量>	年間 3,620 万 t(対前回-30 万 t(*1))、 <u>上期 1,828 万 t、下期 1,790 万 t</u>	4,477 万 t(*2)

(\*1)台風・豪雨影響、(\*2)旧日鉄日新製鋼との合算値

### 2. 2021 年度及び中長期的な成長に向けた取り組み

#### (1) ベース操業実力の着実な向上

- ①操業・設備安定化の取り組み継続による収益の最大化
- ②実力操業諸元のさらなる改善による変動費低減の追求

#### (2) 紐付き分野における取り組み強化

- ①長期的な供給力も含めた安定供給の担保、お客様の求める高品質な製品の開発やゼロカーボン・スチールの取り組みを進めていく中、主原料・市況原料等コストアップ影響のサプライチェーンにおける応分の負担や、当社の提供する製品・ソリューションの価値の観点から、紐付き価格のもう一段の是正により国際的に見て適正なマージンの確保への取り組みを強化
- ②紐付き契約の商慣習については、お客様毎の事情を踏まえた最適な契約期間・交渉時期・手法等について見直しを推進

#### (3) 生産設備構造対策の着実な実行 ~21 年度効果発揮 200 億円

上期末に、瀬戸内・呉地区鉄源、関西・和歌山地区鉄源1系列を休止  
 3/5 に公表した中長期経営計画に基づく生産設備構造対策の着実な実行を図り、さらに強固な収益基盤を確立  
 cf. 21 年度下期休止予定 … 下期末:名古屋 厚板ライン、君津 UO 鋼管・大形・1CC 等  
 20.4Q~21 年度主要設備投資…君津6CGL、名古屋第 3 コークス炉、名古屋第 3 高炉改修 ~注文構成高度化・設備新鋭化の推進

#### (4) 海外事業の深化・拡充に向けたグローバル戦略の推進

- ・選択と集中の徹底及びグローバル鉄鋼需要の確実な捕捉(収益は過去最高水準へ)
- ・AM/NS India の収益はさらに拡大。能力拡張施策等の成長戦略を推進

#### (5) ゼロカーボン・スチールへの挑戦及びカーボンニュートラル社会実現への貢献

- ・超革新技術(鉄鋼製造プロセス)の他国に先駆けた開発・実機化に向けた取り組み
- ・カーボンニュートラル社会に対応した高機能商品力の強化(ハイグレード電磁鋼板、超ハイテン鋼板 他)
- ・足元の脱炭素化の加速に対応した品種戦略の検証(新たな事業機会とリスクの見極め)

#### (6) デジタルトランスフォーメーション戦略の推進

- ・IoT、AI 活用による操業・設備保全の遠隔管理・予兆監視、自動化  
 ~製鉄所でのドローン規制緩和(2021/8)を受け、利活用拡大を推進
- ・実績管理・一貫生産計画の一元化・迅速化による、各 DX 施策との連携

#### (7) 財務基盤強化・財務体質健全化

- ・10/4 CB 発行(3,000 億円)~中長期的に機動的かつ確実な成長戦略の遂行を継続するための財務基盤強化
- ・株式の売却、在庫適正化等の資産圧縮により、有利子負債削減・財務体質健全化を推進

日本製鉄株式会社

コード番号 5401 上場取引所 東京、名古屋、札幌、福岡

問合せ先 責任者役職名 広報センター所長

氏 名 有田 進之介

TEL (03)6867-2135、2146、2977、3419

<2022年3月期 第2四半期決算 補足情報>

[全国]

1. 粗鋼生産量

単位:万トン

	第2四半期		上期	第2四半期		下期	年度
	第1四半期	第2四半期		第3四半期	第4四半期		
2020年度	1,811	1,898	3,709	2,199	2,371	4,570	8,278
2021年度	2,435	2,407	4,842	2,411程度 <sup>(※)</sup>			

<sup>(※)</sup>経済産業省見通し

2. 在庫推移

	国内メーカー問屋在庫	(在庫率)	薄板三品：熱延＋冷延＋表面処理	ときわ会H形鋼
	万トン	%	万トン	万トン
2019. 9 末	595	(157.7)	445	19.1
2019.10 末	585	(155.4)	433	18.2
2019.11 末	580	(158.0)	434	18.0
2019.12 末	582	(172.0)	432	19.1
2020. 1 末	589	(170.3)	445	19.6
2020. 2 末	594	(177.1)	449	19.6
2020. 3 末	576	(157.6)	439	19.4
2020. 4 末	576	(192.1)	436	18.1
2020. 5 末	590	(222.8)	447	17.8
2020. 6 末	567	(194.2)	430	16.6
2020. 7 末	532	(172.1)	398	16.3
2020. 8 末	534	(187.8)	393	16.2
2020. 9 末	512	(159.9)	367	16.6
2020.10 末	497	(142.7)	356	16.6
2020.11 末	503	(151.3)	354	17.1
2020.12 末	509	(157.6)	356	17.8
2021. 1 末	522	(163.9)	355	18.9
2021. 2 末	522	(165.7)	355	19.9
2021. 3 末	507	(134.6)	351	20.9
2021. 4 末	525	(160.6)	368	20.7
2021. 5 末	552	(172.7)	391	20.3
2021. 6 末	539	(147.3)	388	19.7
2021. 7 末	538	(158.2)	388	18.9
2021. 8 末	562	(184.7)	410	18.3
2021. 9 末	583	(172.8)	432	18.0

\*2021.9 末は速報値

〔当社〕

## 3. 出銑量（当社＋北海製鉄）

単位：万トン

							年度
	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	
2020年度	756	727	1,482	832	993	1,825	3,307
2021年度	1,004	989	1,993			1,930程度	3,920程度

## 4. 粗鋼生産量

【連結ベース】 当社＋連結子会社

単位：万トン

							年度
	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	
2020年度	830	848	1,678	964	1,123	2,087	3,765
2021年度	1,188	1,137	2,325			2,250程度	4,570程度

【参考：単独ベース】

単位：万トン

							年度
	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	
2020年度	720	745	1,464	847	989	1,836	3,300
2021年度	1,018	1,005	2,023			1,950程度	3,970程度

## 5. 鋼材出荷量

単位：万トン

							年度
	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	
2020年度	712	733	1,446	793	884	1,677	3,122
2021年度	920	909	1,828			1,790程度	3,620程度

## 6. 鋼材平均価格

単位：千円/トン

							年度
	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	
2020年度	86.0	81.3	83.6	86.9	89.7	88.3	86.1
2021年度	97.2	116.1	106.6			127程度	117程度

## 7. 鋼材輸出比率（金額ベース）

単位：%

							年度
	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	
2020年度	39	37	38	33	37	35	36
2021年度	43	45	44			41程度	42程度

## 8. 為替レート

単位:円/\$

			上期			下期	年度
	第1四半期	第2四半期		第3四半期	第4四半期		
2020年度	108	106	107	105	105	105	106
2021年度	110	110	110			110程度	110程度

## 9. 設備投資額（工事ベース）及び減価償却費

【連結ベース】

単位:億円

	設備投資額	減価償却費
2020年度	4,744	2,908
2021年度	4,800程度	3,300程度

以 上